

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人 泰斗福祉会	施設長 代表者	長谷川美音子	法人・ 事業所の 特徴	<法人の方針> ・私たちは、利用される方々の生活をスタッフが丸となって支え、共に笑顔のある毎日が送れるよう支援します。 ・私たちは、人が集まり、支え合い、開放感のある時間を共有して誰にも開かれた当たり前の生活を地域の皆様と共につuckingしていきます。 ・「風早に行けば何とかしてくれる」と思っていたらけるようなサービスを提供します。 職員は、上記の理念を常に念頭に置き、行動します。
事業所名	小規模多機能 にじいろ	責任者 管理者	石佐喜智之 森健郎		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	2	2	3	1	1	1	0	4	0	14

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	記録に関しての重要性を全職員に周知し日々の生活の様子を記録に残す。記録自体の書式、管理について見直し分かりやすく、すぐに提示できるよう改善していく。個別計画書の保管場所の確保や確認しやすい書式の取り入れ等を行い、職員が日常的に閲覧出来る環境を作り、利用者に適切な支援が出来るよう改善していく。	以前は、特定の職員のみが記録を担当していたが、現在は全職員が記録できている(パソコン入力による記録)日々の記録は「ケース記録」として日中の様子、利用者様の会話の様子を中心にその時不在だった職員にも周知され、毎日出勤時には必ず申し送りノートと一緒に目を通すように徹底できている。情報共有に関しては、日々の記録も随時更新し、最新の情報を共有できるようにし、朝礼後や少しでも空いた時間にミーティングを行なっている。	記録に関しては少しずつ改善がみられている。どう全体に周知情報共有するかが今後の課題ではないか。職員同士コミュニケーションを十分とって職員が余裕をもって仕事していく必要がある。	今後も記録に関しては継続して行い現場職員に周知・共有していけるようにしていきます。こまめにミーティングの時間をとり利用者様の情報共有だけでなく職員間の連携がとれるよう努めていきます。
B. 事業所のしつらえ・ 環境	①入り口から入っても迷わないよう案内板置いたり、分かりやすくなるよう工夫する。 ②外部からの来客者への挨拶や丁寧な対応を周知徹底する。 ③また接遇などの研修会へ積極的に参加を促して職員の質の向上を図る。	玄関前に本部(事務所)を移転したことで入った時の印象は明るくなった。外部からの来客時にも、すぐに対応が出来るようになった。入り口に看板を置き、事業所が分かりやすいようにした。	以前は出入りする時に誰もいないときがあつて困った時があつたが、今は事務所が出来て改善されている。自動ドアが施錠されているのは、認知症の利用者対策で仕方ないが、来訪者にきちんと説明する必要がある。	今後は来訪者に対して施設玄関自動ドアの施錠に関する説明が全職員ができるようにします。にじいろの出入り口も事業所の活動・様子が分かるよう暖かい時期になれば開放します。②③に関しては継続して行います。
C. 事業所と地域のかかわり	カフェであったり、カフェの隣のスペースを有効活用してイベントを提案・開催し、まずは少しでも多くの方に「にじいろ」「風早の家」を、知ってもらふ。地域の行事や小学校、中学校などの行事に参加し、児童生徒保護者と車椅子の使い方など介護について関心理解を深めていただけるよう努力する。	在宅グループ会議「青空会」を立ち上げ、11月から介護や認知症に関する相談や地域の憩いの場として、「いきいきカフェ」を毎月第3日曜13:00~16:00に開催している。現在までに3回実施し、延べ48人来場いただいている。12月に小規模利用者様も参加された。参加者にご意見いただきながら、今後の取り組みに活かし、地域との関わりを広げていけるよう努力していきます。	地域の清掃は非常に助かっているし、近所を歩いてすれ違った時に職員から挨拶できているので、印象も良いし関わりも徐々に広がっていければよい。地域の行事に職員が参加できてないと個別評価にあつたが、職員が仕事に疲れて余裕がないので、職員間で意見交換し、少しずつ参加できれば。	家族様とのやりとりが直接できるように送迎には現場職員が対応します。「いきいきカフェ」を継続して地域の憩いの場として浸透し、地域とのつながりをひろげていきます。職員間で気持ちの余裕もてるよう業務改善や意見交換等を行い協力体制を整えて地域との関わりがもてるようにします。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>利用者が地域でどのような生活をされてきたか、協力してくださる方などを細かに把握し、地域で幸せに過ごせるネットワーク作りをしてゆく。 その一助として、包括の社会資源を理解し資源マップを活用し自宅に戻っても安心して暮らせるようサービス提供していく。</p>	<p>地域の方々や包括支援センターからの情報を共有し、利用者の方や地域の方が困っていることや地域の取り組み・行事を理解して参加していくことが今後の課題である。 また地元(北条地区)職員からの情報や協力を強みにし、施設・事業所全体で支えていけるような体制づくりを目標としていく。</p>	<p>地域にどのような社会資源があるのか把握する必要がある。(北条地区にボランティアはどのような人材があるか)利用者様がどう社会資源と関わっているか理解し支えていってほしい。 ボランティアセンターに問い合わせすれば助言できるのではないかな。</p>	<p>ケアマネだけでなく現場職員も地域連絡会等の地域の会議に参加して全職員が地域の社会資源の理解を深めるのも一つの方法であり検討したい。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>①書面や口答伝達だけでなく、ほのぼの新開や活動の写真等で生活や活動風景画を想像できるようなものにしていく。 ②開催場所を実際の利用者の過ごされている中で行い、紙面だけでなく生の様子も把握していただくことも検討中。</p>	<p>事業所の活動報告等で、写真を使っの報告は出来てきている。 今後、開催場所を各事業所で行ってみたり、毎回事業所を見学して意見交換の場を設ける。 行事に参加して雰囲気を感じてもらうのも一つの方法ではないかと考えており、検討していきたい。</p>	<p>外部評価で出た意見を運営推進会議に定期的に報告できたらよい。 運営推進会議の意見を今後反映されるように。</p>	<p>外部評価で出た意見をどう改善したか報告できるようにします。 運営推進会議で出た意見も事業所内で検討し改善できるようにしていきます。 ①②に関しては継続して行います。</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>今後、消防訓練の日程が決まれば、事前に運営推進会議で情報提供し、地域の方も参加していただけるよう呼びかけ、協力体制を構築できるよう努力する。</p>	<p>防災・災害に関する情報共有は運営推進会議の場でだけでなく、適宜情報が入れば行っていく。 昨年6月に避難訓練を実施した際には地域の方にも参加いただいた。 今後も消防訓練が決まれば地域に呼びかけ参加していただき、いざという時に協力体制が取れるよう、日頃から連携を密にする。</p>	<p>小規模にじいろとして防災時の連絡体制を整える必要がある。 一番身近な地域住民と連携をとり、お互い協力できる体制づくりが必要。 すばき地区に防災士が3人おり、今後連絡体制をつくり協力をもらえばいい。 防災訓練の連絡を早めにもらえれば町内会長から地域住民に発信し、多くの方に参加してもらえるのではないかな。</p>	<p>防災時の地域(住民)も含めた連絡体制を整える。 緊急時に地域の方に協力を得られるように日頃から何かあった時はお互いが助け合える関係をつくり連携をはかる。 防災訓練が決まり次第、町内会長に連絡し地域住民が集える一つの場になれるようになります。</p>

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年01月25日 (14:00~15:00)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 介護・看護・介護支援専門員 7名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5人	2人	人	7人

前回の改善計画	利用者様の特性を理解し、職員会やミーティングで共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	概ね出来ていたが、細かい部分で不足していたことがあった。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		5	2		7
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	5	1		7
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?		7			7
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		7			7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 送迎を出来るだけ行くようにして、ご家族様、ご本人様との関係を深めるように努めた。 利用開始前に全体ノートにて情報を発信・共有できた。 新規の利用者様に関しては、事前に全体ノート等で情報を共有できるよう努めている。 本人様の視点にたって動いていると思う。 ケアマネと家族様の連絡がしっかりとれてよい関係性を築けている。 利用者様に対して適した対応や家族様との連絡がとれている。
--------	--

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること 職員会以外でももう少し情報交換・意見交換できる時間がとれたらよかった。 家族様との関わりが少なく家庭の状況が把握しきれてない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 利用開始前にフェイスシートを活用し、申し送りやカンファレンスをこまめに行い、職員間で情報を共有する。個人ファイルに事前に得た情報を挟み、いつでも閲覧出来るようにする。
---------------	---

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成29年01月25日 (14:00~15:00)
------------------	-----	---------------------------

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	介護・看護・介護支援専門員 7名
---------------------------	------	------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	3人	4人	人	7人

前回の改善計画	本人の目標(ゴール)を理解し、その目標に沿った支援を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	職員同士の意見交換があまり出来ていなく、あまり実施出来ていない。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	1	2	4		7
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		4	3		7
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		5	2		7
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		4	3		7

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること 必要に応じて個別の対応を心がけている。 当面の目標「～したい」を日々の中で知り、その目標に向けて出来ることを出来る分だけ実践してきた。 時間がある時は出来るだけ利用者様とお話するようにして、本人様の気持ちを理解するように努めている。
--------	---

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること 本人様の目標を意識した支援や関わりはまだまだ足りなかったように思う。 職員、皆が情報共有出来ていなかった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 日々の関わりや会話の中で、「～したい」という思いを汲み取り、小さな事柄でも記録に残す。出来る範囲内で、ひとつでも多く「～したい」を実現させる。
---------------	---

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年01月25日 (14:00~15:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 介護・看護・介護支援専門員 7名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	2人	4人	人	7人

前回の改善計画	利用者様(個々)に合った個別の支援を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	以前の暮らし方を把握出来ておらず、利用者様の意向に沿ったケアが出来たとは言えない。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		3	2	2	7
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	5			7
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		3	4		7
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	5			7
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	4	2		7

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
本人の心身に合わせて、排泄・入浴介助に努めた。 体調の変化に応じて、他職種と連携し対応することが出来た。 本人様の体調の変化に応じて他職種や責任者に相談・報告することが出来ている。	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
変化に気づいても適切な対応が出来ているかはわからない。 利用者様の一人ひとりの声をじっくり聞いてあげれていない。 以前の暮らし方について把握できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
職員会議で毎月ご利用者を数名に絞って、一人ひとりのケアについて見直したり、理解を深める。	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年01月25日 (14:00~15:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 介護・看護・介護支援専門員 7名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	2人	4人	1人	7人

前回の改善計画
利用者様の生活歴を理解し、本人様に必要な暮らしについて考える。
前回の改善計画に対する取組み結果
情報収集不足で本当に必要な暮らしについて考えることが出来ていない。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	1	3	3		7
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	1	3	2	1	7
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		3	3	1	7
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		3	3	1	7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	本人様と家族様の関係を尊重し支援できている。 本人様の生活スタイルを理解しながら個別の対応が出来てきている。 ご本人様や家族様の立場に立つように努め支援できた。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
	情報収集不足であった。 民生委員や地域資源を把握できていない。 本人様のこれまでの生活歴について把握できていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	送迎や訪問時、ご家族からの夜間帯も含め、日常生活の状態や変化を聞き取り記録に残す。ご家族からの問い合わせや相談事、上司や他職種に相談し、早く返答することを継続して対応する。

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年01月25日 (14:00~15:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 介護・看護・介護支援専門員 7名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	3人	3人	1人	7人

前回の改善計画	必要に応じて「訪問」「宿泊」を入れながら柔軟にサービスを提供する。
前回の改善計画に対する取組み結果	宿泊について、定員の問題があり上手く調整が出来なかった。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		3	3	1	7
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	3	2	1	7
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?		4	3		7
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?		7			7

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
状況に合わせて職員同士で協力し柔軟な支援を心がけている。 変化に気づいた際は情報を発信し共有に努めている。 ご本人様のニーズに沿って出来る範囲で柔軟に対応できた。	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
以前のケアマネ在籍時に決めた「宿泊」サービスが継続のまま変更が出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
ご利用者の体調に変化が見られたら、こまめに記録に残したり職員連絡ノートや口頭にて職員間で情報を共有する。また引き続き変化が見られたら小さな事柄でもご家族に報告相談する。	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成29年01月25日 (14:00～15:00)
------------------	-----	---------------------------

6. 連携・協働	メンバー	介護・看護・介護支援専門員 7名
----------	------	------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	2人	4人	1人	7人

前回の改善計画	地域の行事やイベントに参加し地域とのつながりをつくる。
前回の改善計画に対する取組み結果	可能な限り地域行事などには参加したがまだまだ不十分である。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか？			3	4	7
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		2	3	2	7
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか？		3	2	2	7
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		4	2	1	7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
地域の行事や活動は可能な限り参加している。 現在のケアマネからはサービス担当者会議は定期的に行うことが出来ている。 会議にて情報共有できるように努めている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
地域のイベントや活動に参加できていない。 家族様や知人の面会はよく来られるが、他の地域住民の方はあまり来られていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
「いきいきカフェ」開催時の参加や地域の清掃を中心に、継続して地域の行事や防災訓練に参加し、地域の方々と交流を深める。	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年01月25日 (14:00~15:00)

7. 運営

メンバー 介護・看護・介護支援専門員 7名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	4人	3人	人	7人

前回の改善計画	利用者・家族様の意見や苦情が出たときは、早期連絡・相談し対応できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者や家族には早期対応に心がけ、実施出来た。地域とのつながりはまだ不十分である。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか？	1	4	2		7
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	4	2		7
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？		4	3		7
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？		5	2		7

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
利用者様、家族様からの意見や申し出には耳を傾けるように心がけている。介護支援専門員の立場であるが、介護職員として色々提案したり工夫できた。包括と協力して、いきいきカフェの開催をし、毎月開催できている。利用者様、家族様からの意見や苦情があれば、即対応できるように努力した。職員同士、報告連絡を行い意見を共有している。家族様からの意見も尊重し改善に努めている。ケアマネからの情報がきちんと現場の職員に伝わっている。	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
地域とのつながりがまだ浅いため、あまり反映できていない。地域の方とのふれ合いが出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
運営推進会議やご家族様から出た意見や苦情を職員会議で振り返り、業務改善に反映していく。	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年01月25日 (14:00～15:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 介護・看護・介護支援専門員 7名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	3人	3人	1人	7人

前回の改善計画	スキルアップのために職場内・外の研修に参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	研修は概ね参加出来た。職場外の研修には積極的に参加する必要がある。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか		3	3	1	7
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		3	3	1	7
③	地域連絡会に参加していますか		1	2	4	7
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		3	3	1	7

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること 全体研修や館内研修に時間をつくり参加している。 研修に出来る限り参加している。 スキルアップの為に研修も自ら参加できた。
--------	---

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること 外部の研修には参加しているが館内の研修に毎月参加できていない。 職場の研修には参加しているが地域の会議には参加したことがない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 職員各個人で目標を自覚し、主体的に館内外の研修会に参加する。また研修で得た情報や内容を職員会議等で提供し、職員間で共有していく。
---------------	--

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年01月25日 (14:00~15:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 介護・看護・介護支援専門員 7名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	6人	人	人	7人

前回の改善計画	プライバシー保護や身体拘束・虐待防止に徹底する。
前回の改善計画に対する取組み結果	研修会等に参加し理解を深めると共に徹底が出来ている。 会話のやりとりには注意し適切な対応をしていく。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	1	6			7
②	虐待は行われていない	3	4			7
③	プライバシーが守られている	2	5			7
④	必要な方に成年後見制度を活用している		5	1	1	7
⑤	適正な個人情報の管理ができている		7			7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>プライバシーに配慮した介助(入浴や排泄)ができた。 身体拘束・虐待は全くしていないと言い切れる。 個人のプライバシーを守り業務にあたっている。 利用者様に不安をあたえないように心がけている。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>身体拘束は行ってないが言葉による「ちょっと待って」といってしまう声掛けはあった。 現場が忙しかったり気持ちに余裕がないときは、利用者様に不快な思いをさせているかもしれない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>言葉による身体拘束も多い為、職員会議等定期的に身体拘束防止について振り返る機会を持つ。</p>	